

平成21年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

平 成 2 2 年 活 8 月 環 境 1 1 日

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成21年度まとめ)	完了 主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値	
											平成13年	平成19年	平成20年	平成21年		
1. 共生（海とみどりをまもり・育て・いかす・自然と共生するまち）	(1) 生活の中で身近に海を感じるまちをつくる	A 塩竈の海を活かした水辺環境をつくる。	散策路や広場など親水施設の整備を進めます。	「海辺の賑いゾーン」の整備		「海辺の賑いゾーン」都市基盤整備事業	「R本塩竈駅東側「海辺の賑いゾーン」の整備を土地区画整理事業により施行している。現在は、仮換地指定や駅前交通広場等の整備が完了し、残りの建物移転を進めている。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 823,456千円 357,832千円 409,475千円 *事業実績 *仮換地 平成20年度末現在で指定面積43,413㎡の仮換地指定が100%完了	都市計画課	「水辺のいい場所ランキング」を実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とします。	・水辺のいい場所ランキング認定数	未認定	未認定	未認定	未認定	認定後の2倍	
				港奥部再開発事業の推進		塩竈港整備促進期成同盟会負担金・塩竈ヴェネツィア計画		商工観光課(みなとまちづくり課)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
		B 市民が楽しめる魅力ある港町をつくる。	海とのつながりを重視したまちの活性化を進めます。	中心市街地活性化事業の推進		中心市街地活性化推進支援事業		中心市街地の活性化に結びつくイベント等を企画・実施する団体に対し、補助金を交付する。一般公募 平成19年度 平成20年度 平成21年度 3件 4件 0千円 2,250千円 3,855千円 0千円	都市計画課	マリゲート塩竈の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	・マリゲート塩竈の総利用者数 ・船舶利用以外の利用者割合	130万人	107万人	99万人	110万人	約150万人
				港町の資源を結びつけるネットワーク整備を市民・事業者と連携して進めます。	観光施設整備・サイン計画の策定		観光施設整備事業		商工観光課	市民アンケート調査での海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることが目標とします。	・海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率	41.80%	19.90%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	60%以上
		C ぐらしと産業が共存する海辺をつくる。	市民も観光客も楽しめる海辺の拠点整備と活用を進めます。	港の利用を高めるような漁港や港湾部の多目的・高次利用を推進します。	北浜地区造船移転対策の推進		北浜地区造船移転対策事業	造船各社8社との移転交渉を宮城県が行っている。本市は交渉のサポート等を行っている。 全体23,000㎡ 平成18年度：13,901㎡まで終了 平成19年度：16,601㎡まで終了 平成20年度：19,101㎡まで終了 平成21年度：21,300㎡まで終了	商工観光課(みなとまちづくり課)	「水辺のいい場所ランキング」を実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とします。	・水辺のいい場所ランキング認定数	未認定	未認定	未認定	未認定	認定後の2倍
					漁港背後地の利用促進		塩竈漁港修築事業(受益者負担金)		塩竈漁港の機能整備、拡充するための事業に対して負担を行い、水揚げ時の安全確保を図る岸壁背後の棧橋補修工事、水深確保を図る泊地の浚渫工事を進めた。事業年度、平成14年度～平成23年度までの整備事業 泊地浚渫工事 岸壁改良(棧橋製作) 臨港道路(一部)整備 岸壁(物揚場)車止改修など 平成19年度 平成20年度 平成21年度 *負担金額 21,000千円 51,500千円 34,000千円	水産課	市民アンケート調査での海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることが目標とします。	・海と接する機会が「少しある」又は「たくさんある」の回答率	41.80%	19.90%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施
	マリゲート塩竈の利用拡大			旅客ターミナル管理運営事業		旅客ターミナル管理運営事業		平成18年4月から指定管理者制度に移行し、塩竈港開発(株)がマリゲート塩竈の管理運営を行っている。 市として、イベント開催に関連する広報活動のサポートによる集客数向上、及びイベント開催等で施設利用促進を行った。 指定管理者である塩竈港開発(株)が中心となり賑わいのあるイベントを開催し、集客数の拡大を図った。 (イベント開催数 H19:13回 H20:11回 H21:9回)	商工観光課(みなとまちづくり課)	マリゲート塩竈の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	・マリゲート塩竈の総利用者数 ・船舶利用以外の利用者割合	130万人	107万人	99万人	110万人	約150万人
				水産加工アンテナショップ事業		水産加工アンテナショップ事業			水産課	マリゲート塩竈の総利用者数、年間150万人を維持します。また、そのうち船舶利用以外の利用者割合を50%以上を目標とします。	・マリゲート塩竈の総利用者数 ・船舶利用以外の利用者割合	130万人	107万人	99万人	110万人	約150万人
	(2) 自然を守り、まちの緑を育てる	D 身近な都市の緑をつくる。	市民や事業者の緑化意識の向上を図ります。	「花いっぱい運動や花と緑の日」の啓発		緑化推進事業(公園維持管理事業)その1	地域の街路等に花の植栽活動を行っているボランティア団体に、費用の一部を助成しながら緑化意識の向上を図る。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 4団体 4団体 4団体 *交付団体 *式典参加者 100人 105人 70名 *苗木配布 なし なし なし *公園愛護功労 14人・4団体 14人1団体 15人・5団体	土木課	市民アンケート調査での「家やその周辺でみどりを育てている」の実施率を85%に引き上げることが目標とします。	・「家やその周辺でみどりを育てている」の実施率	81.00%	70.80%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	85%以上	
				「みどりの少年団」の支援・育成		緑化推進事業(公園維持管理事業)その2		学校内での植栽や周辺地域の環境美化を行う「みどりの少年団」に対し、費用の一部を助成した。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 1団体170千円 1団体153千円 1団体153千円	土木課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
		市民との協働により身近な公園緑地の魅力を高め、積極的に活用を図ります。	公共施設の緑化や民有地の緑地保全など、まちなかの緑を増やし、ネットワーク化を進めます。	幹線道路の街路樹整備の推進		都市計画事業 下馬春日線(赤坂-栄町)		都市計画街路、下馬春日線(赤坂-栄町)の道路本体工事の進捗に合わせ、植栽工事をし、平成16年度繰越工事により平成17年度も引き続き、道路築造工事・植栽工事・及びボケットパーク整備工事等を行い年度内完了している。	土木課	1人あたりの都市公園等面積を20㎡に拡大し、市内幹線道路の街路樹整備率を26%以上にします。	・街路樹整備率	18.30%	18.30%	18.30%	18.30%	26%以上
				公園維持管理協定の推進		緑化推進事業(公園維持管理事業)その3		公園内の除草や遊具の簡易補修等、管理の一部を地域住民が自ら行ってもらうため地域団体と協定を締結している。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 協定団体数 34団体 35団体 35団体	土木課	8箇所以上の公園を再整備します。	・公園の再整備	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所	8箇所

平成21年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

平 成 2 2 年 活 8 月 環 境 日 誌
市 成 民 生 年 活 部 環 境 日 誌

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成21年度まとめ)	完了 (変更前)	主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値		
												平成13年	平成19年	平成20年	平成21年			
1. 共生（海とみどりをまもり、育て、いかにす・自然と共生するまち）	(2) 自然を守り、まちの緑を育てる	E 生物の生態・生育環境を保全する。	伊保石や加瀬沼、鹽竈神社など、市民の意見・要望を取り入れながら、市内に残された生物生態・生育環境の保全に努めます。	伊保石公園・加瀬沼公園の整備		伊保石公園整備事業	都市計画決定された計画面積66.5ha中、38.2haは供用済みであり、第1期整備区域は完了。		土木課	1人あたりの都市公園等面積を20㎡に拡大し、市内幹線道路の街路樹整備率を26%以上にします。	一人あたりの都市公園等面積	8.0㎡	9.9㎡	10.0㎡	10.0㎡	20㎡		
				加瀬沼公園建設事業負担金		加瀬沼公園建設事業負担金	整備面積53.2ha（H21年度において事業認可変更）のうち施設整備地区（17.5ha）は13年度から完全共用。13年度より緑地環境保全エリア地区の用地取得を進めている。 平成21年度実績 8,142㎡買収 当該年度負担金 3,500千円		都市計画課	同上	同上	同上	同上	同上	同上			
				水質調査の実施		水質調査実施事業	市を流れる河川13箇所にて年3回水質調査を行い環境保全監視につとめている。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 *新町川 2.3 1.2 1.1 *宮町川 3.8 1.4 1.7 *石田川 0.6 0.8 0.6 生物化学的酸素要求量(BOD)...河川の汚濁の度合を示す指標で、水中の有機物が微生物により分解されるときに必要な酸素の量で表したものの。		環境課	(6) 市内の河川の調査地点におけるBODの年平均値の平均を3.0mg/L以下とするよう努めます。	市内の河川の調査地点における水質(BOD)の年平均値の平均	4.3mg/l	1.8mg/l	1.2mg/l	1.1mg/l	3.0mg/l以下		
				公共下水道(汚水事業)の整備		公共下水道(汚水事業)の整備事業	計画面積に対する普及率 平成19年度 平成20年度 平成21年度 89.1% 89.2% 89.2% 人口普及率 98.5% 98.5% 98.6% 平成20年度繰越 1件 平成20年度繰越 0件		下水道事業所	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
				下水道への接続促進		下水道への接続促進	水洗化率 平成19年度 平成20年度 平成21年度 98.0% 98.0% 98.0% 水洗化戸数 92.4% 91.0% 91.3% 普及促進月間を設定し未接続世帯を197世帯訪問し水洗化要請を行った。引き続き普及促進に取り組んでいく。 平成21年度 196件の水洗化申請実績がある		下水道事業所	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
				下水道の普及推進などにより、きれいな水環境づくりを進めます。		浦戸地区生活排水処理対策の推進	合併処理浄化槽設置整備事業	松島湾の水質浄化を目的として、浦戸地区における合併処理浄化槽の普及・整備を図る。事業補助は、平成21年度まで 平成19年度 平成20年度 平成21年度 補助実績 0円 0円 0円 浄化槽普及率 29.4% 29.4% 29.4%		環境課	(6) 市内の海域調査地点における水質の環境基準を達成・維持し更に上位の環境基準達成に努めます。	[各項目を環境基準達成・維持、上位の環境基準の達成に努める]	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値	
	新しい技術の応用などにより、環境負荷の少ない漁場づくりを進めます。		カキ殻応用漁場の造成	浅海漁業振興支援事業	カキ生産に伴うカキ殻を粉砕し、海砂と混合して散布することにより、アサリ漁場の再生・造成を図る漁業協同組合の支援を行った。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 2件1,130千円 2件1,210千円 2件1,250千円		水産課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上			
	(3) 自然や伝統的な景観を守り、活用する	F 島嶼部の自然環境を保全し、その特性を活用する。	豊かな自然を享受し、それらと共存できる浦戸地区の生活基盤づくりを進めます。	自然に親しむ機会の提供、充実		しおがま「何でも」体感団	石浜橋から桂島橋まで、桂島島内をグループごとに歩き、クイズ形式で自然や文化財を観察し学んだり、昔ながらの海苔づくり・牡蠣むき体験を通して、地元の自然や文化財、浅海漁業等に関心を高めながら体験事業を展開した。 第1回「島へ行こう!」 参加者 34名 第9回「浦戸を味わおう!」 参加者 28名		生涯学習課	(1) 「水辺のいい場所ランキング」を実施し、「いい場所」を最初の認定箇所数の2倍以上に増やすことを目標とします。	・水辺のいい場所ランキング認定数	未認定	未認定	未認定	未認定	認定後の2倍		
				浦戸地区生活排水処理対策の推進【再掲】		合併処理浄化槽設置整備事業【再掲】	道路の整備を継続して行った。 野々島地区に漁業集落環境整備事業により汚水処理施設、管路施設の整備を実施した。平成21年度供用開始を予定している。		水産課	(6) 市内の海域調査地点における水質の環境基準を達成・維持し更に上位の環境基準達成に努めます。	[各項目を環境基準達成・維持、上位の環境基準の達成に努める]	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値		
		G 伝統的な景観を守り、活用する。	市内に残る伝統的な景観を保全し、その歴史的・文化的価値を活用していきます。	文化財の保全・活用	文化財の保全・活用	国重要文化財鹽竈神社、特別天然記念物「鹽竈神社の鹽竈桜」及び埋蔵文化財包蔵地・貝塚・遺跡等の文化財について、保全管理状況を確認し、その保護に努めた。また、『特別名勝「松島」保存管理計画』の改訂に関する現地調査等を行っている。		生涯学習課	市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しいる」または「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。	・「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しいる」または「たくさんある」の回答率	44.60%	34.40%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	60%以上			
H 貴重な自然景観を保全する。		松島の松林を将来にわたって保全し、再生していきます。	松くい虫対策の推進	松くい虫対策事業	松くい虫の被害にあった松の伐採、保存を要する松に感染予防薬剤の注入、薬剤の地上散布を実施した。(伐倒・樹幹注入・散布調査等) 平成19年度 平成20年度 平成21年度 一般財源 11,409千円 18,765千円 9,335千円		水産課	市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しいる」または「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標とします。	・「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しいる」または「たくさんある」の回答率	44.60%	34.40%	アンケート調査未実施	第5次長生住人アンケートの「街並みや景観の整備」における「満足」「やや満足」の回答率 58.00%	60%以上				
I 環境に配慮・調和した都市景観を創造する。	自然景観や周辺の環境と調和した公共施設や道路の景観整備を進めます。	北浜沢乙線・下馬春日線景観整備	北浜沢乙線・下馬春日線景観整備事業	北浜沢乙線沿線地区において塩竈市が施行する景観事業のコンセプトに基づく可視性の一環として史跡サインや道標等を配置した。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 *設置件数 9件 4件 18件		土木課	文化財・史跡サインの設置数を40箇所以上にします。	・文化財・史跡サインの設置数	12箇所	66箇所	70箇所	88箇所	40箇所					
		北浜沢乙線・下馬春日線整備事業	北浜沢乙線・下馬春日線整備事業	県施工工事は平成21年12月に完了した。経費一部負担についても完了した。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 20,000千円 2,620千円 3,334千円		土木課	鹽竈神社周辺の歴史的地区環境整備街路事業の整備延長を4.2km以上にします。	・歴史的地区環境整備街路事業の整備延長	0.25km	1.240km	1.240km	1.678km	4.2km以上					

平成21年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

平 成 2 2 年 活 8 月 1 1 日
市 成 民 生 活 部 環 境 課

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 年 度 状 況 (平成21年度まとめ)	完了 主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値	
											平成13年	平成19年	平成20年	平成21年		
1・共生・いかす・海とみどり・自然と共生するまち・育て	(3) 自然や伝統的な景観を守り、活用する	I 環境に配慮・調和した都市景観を創造する。	自然景観や周辺の環境と調和した公共施設や道路の景観整備を進めます。	歩道の景観づくり		北浜沢乙線・下馬春日線景観整備事業【再掲】	北浜沢乙線沿線地区において塩竈市が施行する景観事業のコンセプトに基づく可視性の一環として史跡サインや道標等を配置した。 *設置件数 平成19年度 9件 平成20年度 4件 平成21年度 18件	土木課	文化財・史跡サインの設置数を40箇所以上にします。	・文化財・史跡サインの設置数	12箇所	66箇所	70箇所	88箇所	40箇所	
			北浜沢乙線沿線民有地の景観配慮の推進	民有地の景観推進事業	北浜沢乙線沿線の住民が歴史的地区環境に配慮した景観整備を行う際に、アドバース・資金援助を行う事業である。 *実績 平成19年度 アドバース10件、交付10件 平成20年度 アドバース2件、交付1件 平成21年度 アドバース2件、交付2件	土木課	鹽竈神社周辺の歴史的地区環境整備街路事業の整備延長を4.2km以上にします。	・歴史的地区環境整備街路事業の整備延長	0.25km	1.240km	1.240km	1.678km	4.2km以上			
			市民・事業者との協働により環境と調和した都市景観の創造を進めます。	まちづくり資金融資制度の利用推進	塩竈市まちづくり資金融資制度預託事業	塩竈市まちづくり資金融資制度に基づき、住居や店舗を新築する市民が必要とする資金の原資を預託し、潤いあるまちづくりを推進する。 平成21年度までの実績は、6件 1.融資件数 21年度新規実績なし 2.融資金額 21年度新規実績なし	都市計画課	市民アンケート調査での「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率を60%に引き上げることを目標にします。	・「景観や歴史・ゆとり空間」について、「少しある」または「たくさんある」の回答率	44.60%	34.40%	アンケート調査未実施	第5次長総住民生徒アンケートの「街並みや景観の整備」における「満足」「やや満足」の回答率 58.00%	60%以上		
			景観配慮指針の推進	北浜沢乙線における景観整備事業	北浜沢乙線沿線の住民が歴史的地区環境に配慮した景観整備を行う際に、アドバース・資金援助を行う事業である。 *実績 平成19年度 アドバース10件、交付10件 平成20年度 アドバース2件、交付1件 平成21年度 アドバース2件、交付2件	土木課	同上	同上	同上	同上						
2・循環(都市の機能や環境と調和した暮らしのある地域循環型のまち)	(4) 地域循環型の都市をつくる	J 省エネを推進し、自然エネルギーを活用する。	市民・事業者の配慮行動の推進を図ります。	環境配慮行動指針の普及・啓発	環境配慮行動指針の普及・啓発	イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の環境に対する配慮行動の推進を図る 平成21年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催(6月開催) *広報「しおがま」啓発記事掲載(12回) *塩竈市HP上に環境情報コーナーの開設	環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	・市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。	
			庁内の省エネルギーの目標を定め、市が率先して省エネに取り組めます。	環境率先実行計画の策定、推進	しおがまエコオフィスプラン(塩竈市環境率先実行計画)	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度からは第2次計画に基づき実行している。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 清掃工場 57.2% 22.1% -9.2% 上記以外 -11.6% -21.5% -8.4%	環境課	(6) 仮称)環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し	
			公共施設への自然エネルギー導入に向け、新エネルギービジョンを策定します。	新エネルギービジョンの策定、推進	塩竈市地域新エネルギービジョン推進事業	平成15年度策定の新エネルギービジョンを基に平成18年度に完成した「塩竈市団地水産加工業協同組合」のBDF事業について、周知・広報等の支援及びソフト事業を展開した。 【事業内容】 (1)BDF燃料化事業 精製施設(事業主体:塩竈市団地水産加工業(協))1,200t/8h/日 事業費 128,778千円うち補助金85,851千円(2/3) (2)実施事業 竣工事業開始 平成18年11月28日 廃棄物回収先・量 市内水産加工工場等30ヶ所約40,000t/月 BDF登録台数、約200台(うち公用車18台) 販売価格 95円(税抜き) (3)各種ソフト事業 エコスマイルコンテストinみやぎ 最優秀賞(宮城県知事賞)受賞 ストップ温暖化一村一品大作戦全国大会 特別賞(バイオマス賞)受賞 新エネ百選に選定 平成21年度宮城県自然エネルギー等省エネ大賞 自然エネルギー等導入促進部門 大賞を受賞	環境課(政策課)	リサイクル率を30%以上に引き上げることを目標とします。	・リサイクル率	16.50%	17.60%	20.90%	21.11%	30%以上		
				新エネルギー・省エネルギー設備導入事業	平成17年度に市立病院で、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の補助が決定し、A重油を燃料とした空調設備から天然ガス利用のヒートポンプシステムによる個別空調に移行した。(補助は平成19年度に終了) 新エネルギー分 太陽光発電 実績5,096kw 実績率112.6% 省エネルギー分(院内設備) 補助事業終了のため、数値化せず	市立病院	(6) 仮称)環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し		
			市民・事業者の配慮行動の推進を図ります。	再資源化対策事業の推進	ごみ減量化と再資源化対策事業の推進	資源循環型社会を目指し再資源化率の向上を図る ごみ分別のパンフレット、ゴミ収集カレンダー配布、広報誌で3R(リデュース「減らす」リユース「再利用」リサイクル「再生使用」)への取り組みの中で、ゴミの分別の注意点などシリーズで掲載し啓発を図るとともに、施設見学会(533名)や環境パネル展での「ごみ分別体験コーナー」を設置し普及啓発を行った。 平成18年度にはごみ分別方法変更に伴い、新しい「ごみの出し方虎の巻」を作成し全戸配布を行った。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 ごみ総量 24,713トン 24,095トン 23,724トン 再資源化 4,343トン 5,043トン 5,007トン 1人当たり 779.9g 738.9g 727.3g	環境課	(4)における各管理指標	・各管理指標の達成							
			市が率先して目標値を定め、庁内におけるごみの減量とリサイクルに取り組めます。	環境率先実行計画の策定、推進	しおがまエコオフィスプラン(塩竈市環境率先実行計画)【再掲】	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度からは第2次計画に基づき実行している。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 清掃工場 57.2% 22.1% -9.2% 上記以外 -11.6% -21.5% -8.4%	環境課	(6) 仮称)環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し
市民・事業者によるごみの減量・リサイクルの主体的な取り組みを支援します。	フリーマーケットの推進	フリーマーケットの推進	環境保全を目標に再資源化率の向上とごみの正しい分別のため各フリーマーケット開催時に「ごみ相談・分別体験コーナー」を開設し啓蒙に努めてきたが、一定の成果が得られたため19年度以降は行っていない。 平成16年度 平成17年度 平成18年度 開催回数 4回 3回 3回	環境課	[市民アンケートの取組み実施率]	[各項目とも平成13年度アンケート実施時点数値より引き上げる]	各項目の実績	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施				

平成21年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

平 成 2 2 年 8 月 1 1 日
市 民 生 活 部 環 境 課

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実 施 状 況 (平成21年度まとめ)	完了 主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値			
											平成13年	平成19年	平成20年	平成21年				
2. 循環（都市の機能や環境と調和した暮らしのある地域循環型のまち）	(4) 地域循環型の都市をつくる	L 水の有効利用を推進する。	水源の保全に広域的に協力していきます。	環境配慮行動指針の普及・啓発		環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】	イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の環境に対する配慮行動の推進を図る 平成21年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催（6月開催） *広報「しおがま」啓発記事掲載（12回） *塩竈市HP上に環境情報コーナーの開設	環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	・市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。			
				環境率先実行計画の策定、推進		しおがまエコオフィスプラン（塩竈市環境率先実行計画）【再掲】	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度からは第2次計画に基づき実行している。 績 清掃工場 上記以外	環境課	(6) 仮称) 環境率先実行計画を平成16年に策定し、5か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し			
			水源保全の広域連携		水源保全の広域連携	水源の水質保全を目的とした清掃活動行事「水道水源七ヶ宿湖畔クリーン作戦」「大倉ダム湖周辺清掃に利水者として参加した。*6月水道水源七ヶ宿湖畔クリーン作戦 4名参加 *9月大倉ダム湖周辺清掃参加 3名参加	水道・総務課	[市民アンケートの取組み実施率] [各項目とも平成13年度アンケート実施時点数値より引き上げる]	各項目の実績	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施						
	(5) 環境負荷の少ないまちの基盤をつくる	M 環境に配慮した交通体系の整備を進める。		環境負荷の少ない道路の体系的な整備を進めます。	都市計画街路の整備		都市計画街路事業に伴う、ポケットパーク整備工事	都市計画街路下馬春日線道路整備においてポケットパーク整備や環境に配慮した歩道整備等を整備した。(ポケット3ヶ所) 平成17年度中に整備事業は完了している。ポケットパーク整備及び歩道部への植栽整備、雨水処理等を目的とした大型のボックスカルバート埋設による環境整備を行った。	土木課	市民アンケートでの「公共交通や歩いて行ける場所に行くときは、自動車を使わないようにしている」の回答率を70%以上に引き上げることを目標とします。	・「公共交通や歩いて行ける場所に行く時は、自動車を使わないようにしている」の回答率	62.30%	12.40%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	70%以上		
					地方道改良、交通安全施設等の市道整備		交通安全施設整備事業野田留ヶ谷線道路改良工事	JR東北本線塩釜駅からヨークベニマル塩釜店 多賀城市を結ぶ野田留ヶ谷線において、歩道整備を行った。 平成17年度で当該整備事業は完了している。バリアフリー化に伴う歩道整備工事	土木課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上		
					狭あい道路整備事業		狭あい道路整備事業	狭あい道路に接する敷地において、家の建替え時に後退する用地を明確にしなが4m以上の道路幅を確保し住環境の整備を図った。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 13件 6,805千円 9件 4,786千円 11件 4,670千円	建築課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	
					狭あい道路の整備や私道等整備の支援		私道等整備補助金交付事業	私道等の整備を行う町内会などに対して、補助を行い住環境の整備改善を図った。 平成19年度 平成20年度 平成21年度 *整備実績 0件 0件 0件 今後とも、未整備な状況にある私道を整備助成することにより快適で安全な生活環境を確保する。	土木課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
					公共交通網の利便性・連続性を高めて利用向上を図ります。		市内循環バス路線の整備・充実	市内循環バス補助事業	「NEWしおナビ100円バス」の本格運行に際し、両バスの乗り換えを考慮した路線設定を行い更なる利便性の向上に努めた。 両バスを併せた時刻表を市民全戸へ配付し、公共施設へも設置するなど、さらなる利用者発達のためのPRを行った。 平成20年度実績 363,826人 平成21年度実績 354,697人 平成21年 NEWしおナビ 35,119人	政策課 (市民課)	市内循環バスの利用者数を30万人以上に増加することを目標とします。	・市内循環バスの利用者数	154,656人	357,945人 (+203,289人)	363,826人 (+209,170人)	354,697人 (+200,041人)	30万人以上	
	N 社会資本の整備における環境配慮を進める。		環境負荷の少ないまちをつくるため、下水道整備を進めます。	社会資本整備において環境負荷の少ない資材・工法を導入していきます。		環境率先実行計画の策定、推進	リサイクル製品及び環境に配慮した重機使用促進	建築資材について、可能な限りリサイクル製品の使用に努めている。 公共工事発注等に併し、再生資材等の使用を指定して行ったりしている(合計13または20 再生777723 など)	建設部各課 (環境課)	(6) 仮称) 環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し		
				豊富な自然を享受し、それらと共存できる浦戸地区の生活基盤づくりを進めます。		公共下水道(汚水事業)の整備、接続促進	公共下水道(汚水事業)の整備事業【再掲】	計画面積に対する普及率 平成19年度 平成20年度 平成21年度 89.1% 89.2% 89.2% 人口普及率 98.5% 98.5% 98.6% 平成20年度繰越 1件 平成20年度繰越 0件	下水道事業所	下水道普及率(計画区域内)を100%にします。	・公共下水道普及率	95.70%	98.50%	98.50%	98.60%	100%		
				漁業集落環境、海岸保全施設及び漁港の整備		漁業集落環境、海岸保全施設及び漁港の整備	道路の整備を継続して行った。 野々島地区に漁業集落環境整備事業により汚水処理施設、管路施設の整備を実施した。平成21年度供用開始を予定している。	水産課	(6) 市内の海域調査地点における水質の環境基準を達成・維持し更に上位の環境基準達成に努めます。	[各項目を環境基準達成・維持、上位の環境基準の達成に努める]	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値			
				浦戸地区生活排水処理対策の推進		合併処理浄化槽設置整備事業【再掲】	松島湾の水質浄化を目的として、浦戸地区における合併処理浄化槽の普及・整備を図る。事業補助は、平成21年度まで 平成19年度 平成20年度 平成21年度 補助実績 0件 0円 0件 0円 0件 0円 浄化槽普及率 29.4% 29.4% 29.4%	環境課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
O 都市防災における環境配慮を進める。		雨水流出抑制施設の整備を進めます。	海岸保全施設や急傾斜地崩壊対策などに環境に配慮した整備方法を取り入れていきます。		環境率先実行計画の策定、推進	寒風沢漁港護岸工事	寒風沢漁港の護岸工事は、平成16年度事業で実施し、平成17年度に完了した。	水産課	(6) 仮称) 環境率先実行計画を平成16年までに策定し、3か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し			
			公共下水道(雨水事業)の整備		公共下水道(雨水事業)の整備	水害対策として、雨水の流出を抑制するため、一時的に貯めこみを行う宅内や公園の貯留施設の整備を継続して実施。 その他、市内全域に対する雨水貯留・貯留等、基盤整備を行っています。 平成20年度繰越 0件 平成21年度繰越 4件	下水道事業所	下水道普及率(計画区域内)を100%にします。	・公共下水道普及率	95.70%	98.50%	98.50%	98.60%	100%				

平成21年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

平 成 2 2 年 8 月 1 1 日
市 民 生 活 部 環 境 課

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名 (平成21年度まとめ)	完了 主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値				
										平成13年	平成19年	平成20年	平成21年					
2・循環(都市の機能や環境と調和した暮らしのある地域循環型のまち)	(6) 快適で安全な生活環境を確保する	P 環境汚染を未然に防止する。	公害防止対策の強化を図ります。	公害防止の監視・指導体制の強化		規制法・条例に基づく届出処理及び環境苦情処理	環境課	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数をなくします。	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数	36件	4件	8件	18件	0件				
						一般環境調査及び仙台平野精密水準測量調査	環境課	(6)における各管理指標	各管理指標の達成	各項目の実績	各項目の計測値	各項目の計測値	各項目の計測値					
			悪臭・地盤沈下など塩竈特有の環境問題への監視を継続します。	国・県・他自治体との連携強化	国・県・他自治体との連携強化	仙台地域七自治体公害防止協議会のほか東大都市環境問題対策協議会、宮城県市長会環境部会等に加盟し情報収集に努めた。	環境課	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数をなくします。	工場、建設作業などに対する騒音・振動や生活型公害への苦情件数	36件	4件	8件	18件	0件				
		Q 空気や水をはじめとする環境質をより高める。	環境問題に対する情報収集・発信の体制をつくります。	環境情報センターの整備	わかりやすい環境情報の提供	環境情報センターの整備	環境情報センター設置事業	環境課	環境情報センターを平成16年までに整備します。	環境情報センターの設置			平成19年度HP作成	随時更新中	随時更新中	平成16年度開設		
							環境の現状について、平成20年度実績を踏まえた「塩竈市の環境」を発行した。(毎発行)	環境課	(9) 仮称)環境優良企業の認証割合環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。			
							水産加工業活性化支援事業	水産課	(9) 仮称)環境優良企業の認証割合を市内の小売店の50%以上とすることを目標とする。	環境優良企業の認証割合	未認知	未認知	未認知	未認知	50%以上			
		R 廃棄物の適正処理を推進する。	ごみの適正処理に向け、啓発・指導体制を充実していきます。	酸性雨・酸性雪調査の継続・情報提供	酸性雨・酸性雪調査の実施	酸性雨・酸性雪調査の実施	酸性雨・酸性雪の調査を毎年行っており、年度単位の状況をまとめた。同時に、塩竈の環境パネル展などの啓発資料として活用を図った。 平成19年度 酸性雨 6.0PH 平成20年度 酸性雨 6.0PH 平成21年度 酸性雪 5.5PH	環境課	二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、光化学オキシダントについては、それぞれの環境基準を達成・維持します。	二酸化硫黄に係る環境基準の達成度(一日平均値の2%除外値)	0.009ppm (H11年)	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成12年度より測定項目から除外	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成12年度より測定項目から除外	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成13年度より測定項目から除外	過去の測定結果により基準を十分クリアしているため、平成13年度より測定項目から除外	測定値の1時間値の一日平均値が0.04ppm以下かつ1時間値が0.1ppm以下		
							生活型公害改善のため、市民や事業者のマナー向上を図ります。	「環境の日・環境月間」の啓発	「環境の日・環境月間」の啓発	6月の「環境の日・環境月間」に合わせ、啓発ポスターの掲示や広報紙への掲載、さらには環境パネル展を開催し、環境保全への理解と日常生活における環境行動の啓発を行った。	環境課	(8) 失民アンケート調査で環境に関する活動への市民参加率を60%に引き上げることを目標とする。	環境に関する活動への市民参加率	45.80%	60.10%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	60%
							小型焼却炉などでの焼却自粛の啓発	野焼きに関するパトロール等	野焼きに関するパトロール等	小型焼却炉の使用や野焼きについて、苦情時に指導を行うとともにパトロールを実施し自粛に努めている(指導 3件)	環境課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
							ごみの適正処理に、啓発・指導体制を充実していきます。	事業者指導の強化	事業者指導の強化	市内集積所の巡回や通報により排出状況を調査し、直接事業者への指導を行った。	環境課	「(6) 快適で安全な生活環境を確保する」の推進						
ごみ処理の広域化などにより計画的な施設整備を進めます。	ごみ処理広域化の推進	ごみ処理広域化の推進	平成18年度からの破砕処理方式による可燃ごみ処理事業を引き続き行い処理施設の延命化に努めた。 宮城県ごみ処理広域化計画に基づくブロック協議会での事業具体化への動きかけを行った。	環境課														
清掃工場や埋立処分場など、ごみ処理施設の適正管理に努めます。	ごみ処理施設の適正管理	ごみ処理施設の適正管理	清掃工場においては、ばい煙測定(ばいじん、窒素酸化物、ダイオキシン類)や排出ガスの常時監視を行い環境基準をクリアした中で運転を行った。埋立処分場においては、ダイオキシン類測定や水質調査を行うとともに埋立量を調査しながら残容量の把握に努めた。	環境課														
3・参加(一人ひとりの自覚と責任のもと、協働で環境保全に取り組みまち)	(7) 環境について知る・学ぶ機会をふやす	S 環境教育・学習を推進する。	多様な学習ニーズに対応する環境教育・環境学習活動の機会を拡大していきます。	環境学習プログラムの作成・提供	のびのび塩竈っこプラン策定事業	児童福祉課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。				
				子どもエコクラブの推進	子どもエコクラブの推進	小中学生が環境を守るために活動する環境クラブへの加入について、各学校に周知を図るため、市内小・中学校長会、児童館に内容説明と加入促進を行った。 平成21年度現在で、市内に11団体	環境課	子どもエコクラブ加入グループ数を小学校区ごとに1つ以上を目標とします。	小学校区ごとの子どもエコクラブ参加団体数	1グループ	8グループ	8グループ	11グループ	小学校ごとに1グループ以上(7グループ)				
				まちの歴史から環境保全に役立つらし方やまちづくりを学び、活用していきます。	「塩竈学」まちづくり学習事業の推進	「塩竈学」まちづくり学習事業の推進	市民が郷土の自然や歴史・文化を理解し、まち並み景観、環境など、まちづくりへの活用や行動につなげてもらうための講座やシンポジウム等を開催する。 塩竈学問所講座 (1)特別編 塩竈の人とくらし-明治・大正・昭和、そして今- (6月・参加者88名) (2)「新・いしづみ紀行-新たな塩竈の歴史を訪ねて-」(10月-11月4日・参加者延べ117名)*本講座を機に「いしづみ愛好会」が結成され活動をしている。 (3)「発掘からわかること」(11月-12月2回・参加者延べ63名) シンポジウム「民俗芸能の明日を考える」(3/28 参加者220名)*塩竈神楽の塩竈市無形民俗文化財指定を記念し指定書交付式を行いながらシンポジウムを開催した。	生涯学習課	市民環境講座の参加率を60%以上とすることを目標とします。	市民環境講座の参加率	50%	51.3% (+1.3%)	54.3% (+4.3%)	60%以上				
				総合的な学習の時間などを活用した環境教育を進めます。	小中学校総合的学習及び体験学習の推進	小中学校総合的学習及び体験学習の推進	小中学校において環境に関するテーマを設け学習を実施。 [主なテーマ] *身近な環境を考えよう、環境問題について考えよう、清掃ボランティア、EMくん地球を救う、わたしたちができること	学校教育課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。		
教職員の研修・研究活動の推進	教職員の研修・研究活動の推進	教職員の研修・研究活動の推進	各小中学校において、自然環境や生活環境に触れた体験学習の研究、理科・社会等教科科目の中に環境教育を取り入れる。	学校教育課	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上						

平成21年度塩竈市環境基本計画関連施策・事業推進状況

平成22年8月11日
市民生活部環境課

環境像	基本目標	施策の方向	具体的施策	具体的施策名	重点施策	施策・事業名	実況 (平成21年度まとめ)	完了 主管課 (変更前)	管理指標	管理項目	管理指標実績				管理目標値	
											平成13年	平成19年	平成20年	平成21年		
3・参加 (一人ひとりの自覚と責任のもと、協働で環境保全に取り組むまち)	⑦ 環境について知る・学ぶ機会をふやす	T 環境情報の共有化を進める。	環境情報を収集・発信するとともに、市民・事業者・市の情報共有の場として利用できる拠点を整備します。	環境情報センターの整備		環境情報センター設置事業【再掲】	平成18年度に市民課中心に進めている市民活動支援センター設置に伴い、一部環境に関連する情報提供等のコーナー設置を行い、7月から同コーナーから誰でもが本市の環境基本計画前編や「塩竈市の環境」について、情報が受けられるようにHPを解説した。	環境課	環境情報センターを平成16年までに整備します。	・環境情報センターの設置	平成19年度HP作成	随時更新中	随時更新中	平成16年度開設		
			広報やホームページなど、市民の目にふれやすい情報提供ツールを充実していきます。	環境情報誌など情報提供ツールの充実		環境情報等の提供【再掲】	環境の現状について、平成20年度実績を踏まえた「塩竈市の環境」を発行した。(毎年発行) 広報誌や環境パネル展を実施し、環境情報に努めた。 平成21年度6月に「環境パネル展」をマリンプラザで行った。	環境課	(9) 環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	・市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。	
			シンポジウムや協議会など市民・事業者・市が交流し環境情報の共有化を図り	シンポジウムや協議会の開催、参加促進		シンポジウム等の開催、参加促進	平成22年2月に環境講座(EMって何だろう)を開催	環境課	市民環境講座の参加率を60%以上とすることを目標とします。	・市民環境講座の参加率	50%	51.3% (+1.3%)	54.3% (+4.3%)	56.2% (+6.2%)	60%以上	
	⑧ 活動に市民を関与・支える事業・育成する環境	U 市民・事業者の環境に関する主体的な活動を支援・育成する。	活動支援・人材育成など、環境活動の拠点となる施設を整備します。	環境情報センターの整備		環境情報センター設置事業【再掲】	平成18年度に市民課中心に進めている市民活動支援センター設置に伴い、一部環境に関連する情報提供等のコーナー設置を行い、7月から同コーナーから誰でもが本市の環境基本計画前編や「塩竈市の環境」について、情報が受けられるようにHPを解説した。	環境課	(7) 環境情報センターを平成16年までに整備します。	・環境情報センターの設置	平成19年度HP作成	随時更新中	随時更新中	平成16年度開設		
				V 市、市民、事業者の協働体制のもと環境に関する各種活動を推進する。	環境に関する行政施策等への市民参加の機会を拡大していきます。	環境審議会委員等への市民公募、定期的な懇談会の開催	塩竈市環境審議会の開催	塩竈市環境審議会を開催し、平成20年度の環境基本計画並びにしおがまエコオフィスプランの実施状況について審議を行った。 塩竈市環境審議会の指摘事項を踏まえ、今後に生かしていく。	環境課	市民アンケート調査での環境に関する活動への市民参加率を60%に引き上げることを目標とします。	・環境に関する活動への市民参加率	45.80%	60.10%	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	60%以上
				環境率先実行計画を策定し、市が率先して環境配慮に取り組みます。	環境率先実行計画の策定、推進		しおがまエコオフィスプラン(塩竈市環境率先実行計画)【再掲】	平成15年度作成の「しおがまエコ・オフィスプラン」に基づき、市が率先して地球環境保全に取り組んでいる。また、平成21年度からは第2次計画に基づき実行している。 実績 清掃工場 上記以外 平成19年度 57.2% 平成20年度 22.1% 平成21年度 -9.2% -11.6% -21.5% -8.4%	環境課	仮称)環境率先実行計画を平成16年に策定し、5か年ごとに見なおしながら推進します。	・環境率先実行計画の策定と管理	未策定	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	しおがまエコオフィスプラン策定済で実行中	平成16年策定3か年ごとの見直し
	⑨ 環境に配慮したくらし方をすすめる	W 環境に配慮した行動を推進する。	市民や事業者に環境配慮指針の普及・啓発を進めます。	環境配慮行動指針の普及・啓発		環境配慮行動指針の普及・啓発【再掲】	イベントや広報誌を活用した啓発活動を行い、市民並びに事業者の環境に対する配慮行動の推進を図る 平成21年度実績 *環境月間における「パネル展」の開催(6月開催) *広報「しおがま」啓発記事掲載(12回) *塩竈市HP上に環境情報コーナーの開設	環境課	環境配慮行動の実施状況をアンケート等で調査し、市民の環境配慮のための重点行動指針の実施率を初回調査時から10%以上引き上げることを目標とする。	・市民の環境配慮のための重点行動指針の項目の実施率	未調査	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	アンケート調査未実施	初回の調査時から10%以上に引き上げる。	
				水産加工業活性化支援事業【再掲】		水産加工業活性化支援事業【再掲】	本市の特徴を生かした商品の販路拡大と衛生管理体制の確立など業界の活性化に向けた自主的な活動の支援(補助額 3,647千円) 魚食普及事業(計16回 延べ参加人数2,423名) 広告求評事業(出展者32社 出展品目319出品 来場者1,300名) 新商品開発・改良事業(2社6品目)	水産課	仮称)環境優良企業の認証割合を市内の小売店の50%以上とすることを目標とします。	・環境優良企業の認証割合	未認知	未認知	未認知	未認知	50%以上	
				環境美化・マナー向上の啓発		環境美化・マナー向上の啓発	美化活動に取り組むボランティア団体に対し、ごみ袋の提供・収集ごみの処分等の支援を行った 平成19年度 平成20年度 平成21年度 *実績 12団体、延べ26回 10団体、延べ14回 8団体、延べ15回	環境課	仮称)美化推進地区数を毎年4地区ずつ増加していきます。	・美化推進地区数	未指定	未認知	未認知	未認知	未認知	毎年4地区ずつ増加
	X 環境美化を推進する。	散乱ごみを防止し、市民の美化意識の向上を図ります。	ペット飼育のマナー向上の啓発	ペット飼育のマナー向上の啓発		ペット飼育のマナー向上の啓発	犬の登録、注射済票交付時にマナー啓発チラシとフン用袋の配布、口頭で呼びかけを行うとともに、広報紙による啓発を行った。市民から寄せられる苦情への対応等は、保健所との協力及び町内会回覧啓発チラシの配布により対応した。 苦情相談があった際には、電話だけでなく現場で顔を合わせてマナー向上にご理解をいただけるよう説明。 平成17年度からの継続事業として、「ストラップ付き鑑札、注射済票」の交付を行った。また、本年度より注射済票のデザインをホネの形に変更。 *狂犬病予防法では、鑑札と注射済票を飼い主に着けておくことが義務付けられている。昨年の鑑札に続き、済票のデザインが従来より親しみやすい形になり、ストラップと合わせて更に着けやすくなった。それにより飼い主の犬の飼育に関する意識向上が図られた。	市民課	仮称)美化推進地区数を毎年4地区ずつ増加していきます。	・美化推進地区数	未指定	未認知	未認知	未認知	未認知	毎年4地区ずつ増加